

身のまわりのほんとう

取材／ASJ千葉いずみ
撮影／相川喬

第十九回 SATSUMA HISTORY



①「うさぎ尽くし」。
②漢字シリーズ 左「宝」、中央「聖」、右「つばめ」各12,600円。
③帯留 左「鳳凰」、右「しだれ桜」各29,400円。
④室田志保さん。
⑤帯留「おにやんま」63,000円（額装込）。
⑥帯留「うさぎ繫ぎ紋」42,000円。

江戸末期に制作された「薩摩ボタン」。それで得た外貨は、戊辰戦争など倒幕運動の軍資金として使われたと言います。絵柄は、当時の生活風景や花鳥風月など日本のものが多く、ジャポニズム文化の一つとしてボタンコレクターには大変貴重なものとされています。その細かい作業ゆえに作る窯元も減り一時は廃れましたが、「薩摩志史」絵付け師の室田志保さんが、現代に合った薩摩ボタンとして復活させたのです。

「小さい面、そこから宇宙が広がっています。まだ私のなかにはありませんが、自分が楽しく描けないといけないと思っています」と室田さん。薩摩焼窯元「橋本陶正山」に絵付け師として一〇年師事し、当時はお茶道具や紋様を専門に描かれていたそうです。薩摩ボタンの存在を知り、その後アトリエを構えたのです。「ボタンを作ってくれる窯元を探すが大変でした。お茶業界はミリ単位の世界でしたので、細かさや上品さと女性らしさを表現したい反面、窯元さんは強度を求めるところもあり、室田さ

んとは仕事をしたくない（笑）という事もありました」と。試行錯誤の結果、今はとても素晴らしい窯元さんと出会えたようです。薩摩焼には、黒薩摩と白薩摩があるのですがボタンには白薩摩を使います。素焼きの後、一二五〇度の窯で本焼きを一回行なうことで、窯の中と外の温度差と、土と釉薬の収縮率の違いにより、貫入が入ります。これが薩摩焼の特徴なのだそうです。

小さいもので直径一センチ弱のボタン一個作るのに、二週間の制作期間を要します。まず下描きをし、すじ描きといわれる輪郭とりをします。陶磁器用の絵の具をすり鉢で磨り込み、色をいれていきます。室田さんは、厳選した五〇色を使い鮮やかな世界を描いています。そして、小ぶりの電気釜（七五〇度）で四時間強かけて焼成し、自然冷却するまで待つから色むらを修正し再度、焼成をする工程を繰り返すのです。その後、マット金で細かい金彩色や盛金を施し、さらに六二〇度で三時間焼成し、金を磨き完成となります。

「描いた後にすっきりしたもの、もう描きたくない（笑）と思うもの、といろいろありますね」と満面の笑み。どの作品がすっきりしたのですか？と聞いたところ、「オニヤンマですね。昔から描きたくって、捕まえようとするのですがスピードが速く中々捕まえられないのです。たまたま事故死をしていたオニヤンマを夫が見つけてくれて、じつくりと観察しました。この美しい羽根の模様に追い付きたいという思いで描きました」と。作品を見せて頂きましたが、とても美しく標本のように見えました。

薩摩焼の絵付け師は現在二〇名程。室田さんはまだまだ自分自身は下っ端ですと語り、「特別な時に使われる事が多いのですが、薩摩焼をインテリアに取り入れていきたいと考えています。お家って、ゆつくりできる場所だと思おうのです。さりげなく日常に溶け込んで、心がホッとするような、そんな作品を作りたいと思います」と。伝統をしっかりと引き継ぎ、現代のライフスタイルも見据えている室田さんの今後が、ますます楽しみです。

お家づくりにも伝統というものがあるのだと思います。伝統と今をどう組み合わせ、表現していくのかその答えは建築家が握っているかもしれない。とことん拘った家を作ってスッキリしたいものですね。その世界をのぞいてみませんか？



室田志保

1975年鹿児島県生まれ。1995年薩摩焼窯元「橋本陶正」絵付け部入社。2004年「薩摩焼をインテリアに取り込む」のテーマでイタリアフィレンツェに短期留学。2005年金沢に国内留学。九谷焼人間国宝工房にて技術指導を受ける。また、同じく2005年に制作アトリエを鹿児島県大隅半島（日本のフロリダ）大野原に構える。2007年初個展（ギャラリービーンズ）。2010年日本ボタン大賞展で審査員特別賞優秀賞を受賞。

薩摩志史

住所 鹿児島県垂水市田神 3718
電話 0994-32-7209
<http://satsuma.cc>



千葉いずみ

ASJライフスタイルデザイナー／1972年鹿児島県生まれ／1997年～バイヤーとして単身ニューヨークにて活動／2000年アパレル店舗運営・人材育成・仕入れを担当／2004年atelier fountain設立／ライフスタイル＝TPOをテーマに暮らしをさまざまな面からサポートするライフスタイルデザイナーとして活動

<http://www.atelier-fountain.com>
この連載について、ご意見ご感想をお聞かせください。